

公開草案段階で何から始める？

# 新リース会計基準の 業務・システム対応

第1章

現行基準との業務フローを比較

## 新リース会計基準案の概要と 実務検討ポイント

第2章

経理・資産管理部門の追加負担への対応は

## 新リース会計基準案による 業務・システムの課題と対応

有限責任監査法人トーマツ 公認会計士

有限責任監査法人トーマツ 米国公認会計士

有限責任監査法人トーマツ

有限責任監査法人トーマツ

岡田 泰治  
速水 翔太  
鈴木 悠介  
後藤 瞭太

5月2日にASBJから公表された「リースに関する会計基準(案)」等(新リース会計基準案)は、現在寄せられたコメントをもとに最終化に向けて審議が行われている。特に借手のリース実務に大きな影響を与えるため、公開草案ベースで、自社の業務プロセスやシステムの対応について、できるところから準備を始めておく必要があると思われる。

そこで、本特集では、新リース会計基準案をもとに、借手企業のリースに関する業務・システム面で想定される課題を抽出し、その対応策について解説していただいた。